



「活きている ことわざ」

船橋市議会議員（無所属・4期）

神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

【事務所】

船橋市前原西8-24-8

☎047-490-3333

Fax 465-7117

Eメール hiroei@muc.

biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

hiroei.jp

身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ・窮すれば通ず

【身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ】◇水に溺れかかった時、自分の体を捨てる気になって水にゆだねると、自然に体が浮く。同じように窮地に立たされた場合には、命を捨てる覚悟で事に当たれば打開できるものだ、ということ。

《類語》死中に活を求める。虎穴に入らずんば虎子を得ず。

【窮すれば通ず】◇行き詰まってどうにもなくなると、かえって活路が見い出せるものだ、ということ。

《参考》「窮する」は、困難にぶつかって、どう処置したらよいかわからなくなる意。

市議会議員が国のことに意見を述べるのは、少しばかり抵抗がありますが、最近の政府と与党、野党の「真実を隠し詭弁(きべん=こじつけてごまかす論)に終始している」言論・行動をみていると情けなくなっています。

北朝鮮の問題はNo. 161でも書きましたが、北朝鮮の動向が注目の的になっています。核、ミサイルそして拉致被害者。安倍首相は「国難突破」と言って、昨年10月に衆議院を解散し、大勝利したことは記憶に新しいところです。韓国と北朝鮮の首脳会談が行われました。これは今月中にでも行われるであろう米朝首脳会談の地ならしだと思っています。ただ、あの異母兄をも亡き者にできる冷徹な人間が、穏やかそうに微笑んでいる画面を見ると、何か期待してしまいそうです。

拉致問題は手段を選ばず早急に解決しなければなりません。しかし、当事者である一国の首相である安倍さんが、自分で行動せず、韓国やトランプ米国大統領に託すとは、情けないことだと思っています。まさに「下駄を預ける」「他力本願」そのものです。



その昔、千葉県出身の山村新治郎政務次官(当時)は、日本航空の旅客機よど号をハイジャックした赤軍派を名乗る輩(やから)に「私が人質になって平壤(ピョンヤン)に行けば乗客を降ろすか」と話し合い、乗客の身代わりに旅客機に乗り100余人の乗客を解放させ、よど号は平壤に行って、79時間にもわたるハイジャック事件が終わった。山村次官は、平壤からよど号に乗ったまま帰国した、という事実がありました。私は『身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ』の思いで『窮すれば通ずる』ものだと確信し生きています。上司の意を忖度したり、かばったり、御身を守ることに終始している誰彼とは雲泥の差です。

次に外交です。水面下では我々が知り得ない事実が多いと思われまふ。過去にさんざん金銭的・物質的に手を差し伸べ、支援をしてきた日本に対しての中国や韓国の振る舞いは、さも自分たちの力で経済大国になったのだとでも思っているのでしょうか。

安倍首相は中東地域に赴き帰国しました。パレスチナに1000万ドル(11億円)の食用



臭いものには蓋?



「俺に任せておけ」

男 山村

支援を、またヨルダンには1000万ドルの無償資金の協力することを伝えました。以前にも書きましたが、お金を持っていけば、どこの国も大歓迎してくれます。それぞれに理由はあるのですが、日本には支援を求める貧困の人は大勢います。さらに、子ども食堂の現実、待機児童の解消。貴重な税金の使い道は、まず**日本のために活用するのが最優先**ではないでしょうか。



さて、3月議会での私の質問から、**防犯灯のLED化**が進んで町が明るくなりました。最近では多くの信号機にも取り付けられ、より明るく見やすくなりました。防犯灯は主に、町会や自治会が市に申請して、補助金を得てLED化しています。

市内の防犯灯は、平成28年度末現在で40,097灯あります。このうちLED化したのが17,656灯で、約44%となっています。市によると、町会・自治会の事情もありますが、このペースで進むと、あと3年くらいで全てがLED化する見通しとのことです。

補助金は、灯具のみの取り付けは、工事費用の90%、45,000円が限度額です。鉄柱を建てて灯具を取り付ける場合も90%、限度額が73,800円で、いずれも10%は町会・自治会負担となっています。

LED工事は電気屋さんをお願いしています。しかし、皆さんが善人とは限らないようです。下表のように**工事金額の最高と最低に大きな差**がありました。(全てが同じ条件の工事とは言えませんが)

(LED) 20VAの新設	最低額 25,706円	最高額 67,680円 (2.63倍)
(水銀灯) 100VAから (LED) 40VAへ変更	33,816円	90,115円 (2.66倍)
(蛍光灯) 40VAから (LED) 10VAへ変更	16,123円	72,360円 (4.48倍)



以前ですが、町会の防犯灯を蛍光灯から水銀灯に変えようと、電気屋さんから見積もりをとったところ、あまりにも高過ぎるので「もっと安くないの」と聞いたら「どうせ市から補助金出のだからいいじゃないか」という、耳を疑る言葉を返されました。当然ながら、別の電気屋さんを紹介してもらい、そこに頼みました。

町会・自治会負担の10%分は、その会員の会費のお金です。市の補助金は皆様の税金です。市は巨額の税金を投入してLED化を進めています。この制度を食い物にしている者が絶対います。二重の見積もりをとったり、暴利をむさぼる電気屋がいるのではないかと、思ってしまいます。電気屋と結託している会長もいるかもしれません。

防犯灯のLED化工事費に大きな差がある現状を、市内の全町会・自治会会長に知らせる注意警告文書をお願いし、この程実行してもらいました。

【閑話休題】会派8人全員で、4月12日と13日に**明石市**に、駅前再開発、子育て・子ども食堂などの視察に行ってきました。明石市は人口も面積も本市の半分くらいの市です。**泉 房穂 市長**は、会派の朝倉議員の東大時代からの友人で、その縁で、市長自ら説明役と懇親会まで、ずっと同行してくれました。泉市長は「児童相談所は国からの助成を待っていたらいつになるか分からない。まず自力で設置する」など、市民のためなら前例にとらわれず推進する、今までに**接したことのないタイプの首長**でした。是非船橋でもお話しをして戴きたい、と、朝倉議員の尽力で10月12日に勤労市民センターで**講演会を会派主催で開催**することになりました。改めてご案内いたしますので、是非お出てください。(会費無料です)

